

令和４年度 奈良市の地域教育を考える懇話会の意見の概要	
開催日時	令和４年１０月１２日（水）１０時００分から１１時３０分まで
開催場所	奈良市教育センター 中講座室
意見等を求める 内容等	令和３年度 奈良市地域教育推進事業について 令和４年度 奈良市地域教育推進事業について 今後の奈良市地域教育推進事業について
参 加 者	出席者 １０人 ・ 事務局 １５人
開催形態	公開 （傍聴人 ０人）
担 当 課	教育部 地域教育課
意見の概要	
事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。	
▶<u>コミュニティ・スクールと地域教育協議会の一体的な推進について</u> ・年齢が違い、抱えている問題も違うため、学校運営協議会の設置は各学校単位であればよいのでは。 ・学校運営協議会が中学校区で設置されていることで、学校運営協議会の委員が地域教育協議会で熟議の内容を共有し、問題解決につながったこともあった。 ・学校が掲げた方針が達成されたか、地域教育協議会の活動にどう活かされたかを、学校運営協議会で振り返り、次の方針に活かされるサイクルができれば、双方の機能が満たされるのではないかな。 ・アンケート調査を用いて、子ども自身の変容をキャッチする必要がある。そこから、どのようにしていけばよいかを考えるのがよいのでは ・学校運営協議会で、学校が子どもたちをどう育てたいかを明確に宣言して、学校でできることと地域の力を借りたいところを限定する。そうすることで、学校でできないことを地域の専門家から学ぶというかたちができるのでは。 ・学校運営協議会委員は学校の理念を読み替えることが役割である。地域教育協議会の活動が学校の理念のどこにつながっているのかという認識を、学校運営協議会と地域教育協議会の双方が役割を理解したうえで、共有することが必要。 ▶<u>自己評価について</u> ・学校教育課が学校から集めているアンケートを地域教育課と共有してみてもどうか。 ・毎年のアンケートも大切だが、何年間かをかけて子どもの成長を振り返ることが必要では。	

▶キャリア教育について

- ・就労体験に加えて、自分を知ることが大切。子どもたちに、自分の経験が社会と今後どのように繋がっていくかを意識させ、どう社会に貢献できるかを考えさせる。
- ・地域の実践の場として、公民館を使用してほしい。